# ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION 全酪連会報

第45回

### 全国酪農青年女性 酪農発表大会2

酪農とのかけはし/ 田茂 敦さん







売上の一部を熊本地震の復興支援に(本所) ほか

酪政連活動報告

日本酪農見て歩紀(群馬県前橋市 北爪義則牧場)







芳賀ひとみさん(北海道会議)が最優秀賞を受賞!!

▲ 表彰式の様子 先月号に続き、今月号では7月14日(木)~15日金愛知県 名古屋市「名古屋東急ホテル」にて開催された第45回全国 酪農青年女性酪農発表大会 酪農意見・体験発表の部の、審 査講評を中心にご紹介します。

いただき、審査講評といたします。 に残った点を中心にお話しさせて て審査させていただきました。 発表された順に、それぞれ印象

です。母子会、酪農婦人部、簿記記

めていてはできない

酪農のよさ

供と過ごす時間が取れたこと、勤

は、昼間家にいることができて、子

酪農をやっていてよかったこと

## 酪農意見・体験発表の部 日本大学生物資源科学部教授

晴らしい発表が揃いました。まだ酪 今回の意見・体験発表の部も、

農を始めてそれほど長くはない若

い方から、長い酪農経験、人生経験

きていこう」と決心されました。 くて暖かい言葉に、「私はここで生 亡くなられどうしていいか茫然と て上げた石川さんですが、ご主人が していた時、義父さんから言われた なり、以来25年間、娘さん2人を育 言、「ここに、おればいいがや」。短 結婚して3年目にご主人が亡く

### 私を支えてくれた家族 ここに、おればいいがや~ 中部酪農青年女性会議



がって今回は、発表時間やスライド つけがたく大いに悩みました。した 査員としてはうれしい反面、甲乙 をお持ちの方、その内容も様々で審

なども含め発表内容に重きを置

2016 · 9 I ZENRAKUREN MEMBER'S INFORMATION 2

らしい半生ですね。と声を掛けた されました。お疲れ様でした。素晴 楽しんでやっていこうと力強く話 これからは肩の力を抜いて酪農を までになられた石川さんですが、 にそうした活動から生きる力もも されている石川さんですが、同 帳会、西尾支所女性部などで活躍 いと思います。 ら習得され、経営を切り盛りする らっているようです。酪農を一か

を持った子ども達の野外活動であ

地域に理解される 農家を目指して 東北酪農青年女性会議



するまで4日間手搾りをしたり、 は、 た。特に、登校拒否や不登校、障がい 者交流活動に力を注がれてきまし たが、酪 使えなくなったりと苦労されまし 27 30 haの自給飼料畑が放射能汚染で 東日本大震災では電気が復旧 歳で酪農家に嫁いだ菅原さん 農婦人部や地域での消費

> 費者を招き、酪農体験を近隣酪農 切さを体験を通して、伝えてこら もたらすことも期待しています。 とから、後継者教育としての効果を ぐるみの取り組みになっているこ です。娘さんたちも参加され、家族 しており、活動が広がっていくよう も老人ホームへの訪問なども計 家と共に、続けておられます。今後 ました。その後も、独自に牧場に消 の子供たちに、仕事の喜びや命の大 に値します。8年間で延べ200人 る「わらすこ山学校」の活動は、特筆

さんです。後は、お婿さんだけ?。 者ってかっこいい」と思わせるひとみ じ取りをされている姿に、「女性後継 の人々に支えられながら、経営のか 姿は、成長を感じさせます。お父さ 家の経営を客観的かつ理論的に分 勉強し、アンケートなどまで行って、 安を抱いたこともあるようです。し んの怪我などの試練を、仲間や地域 析し、今ではその特徴に自信を持っ かし、そのことをきっかけに経営を ない自分の家の経営の特異性に不 1頭当たり5900 て、経営に当たるようになっている ㎏の乳量しか

# 芳賀 ひとみさん

ひとみ25歳で経営主

になる 北海道酪農青年女性会議

で他の酪農家の経営を見るにつけ、 営者になりました。4 Hクラブなど に就農し、今年経営移譲を受け、経 たひとみさんは、農業大学校卒業後 酪農家の3人娘の次女として育っ

### 都会を離れ酪農の道へ ・東京から長野へ~

関東甲信越酪農青年女性会議 高嶋 和磨さん



ものの、5K(キツイ、汚い、臭い、危 かわることに。しかし、始めてみた 酪農家であったことから、酪農にか お付き合いしていた女性の実家が 甲 子 園 球児だった高嶋さんは

> 農家の想いを商品化した「酪農家 り、そして何より子供が生まれた事 農を始めた手前、「男の意地」もあ 考えたという。奥さんを説得して酪 険、給料が少ない)の現実に、奥さん りするまでになっています。 したり、地元の小学校の課外授業 のおもてなし」牛乳を作って売り出 した。組合青年部の活動として酪 酪農を天職と思えるまでになりま 酪農の面白さが見えてきて、今では を始めて3年程経つとだんだんと で踏ん張れたとのことです。牛飼 を連れて夜逃げしようかと何度も (テーマ『いのちを知る』)を担っ

と協力して酪農経営を引き継いで と思える発表でした。 した。これからも、頑張ってほし いきたいと力強く宣言してくれ 今後、自分が主体となり奥さん



### 義務教育中酪農家 九州酪農青年女性会議

横井 直彦さん

さんですが、5年前、エサの営業を が、作れないことから牛を観察でき 私が困ったときは「ゆいまーる」の 所として沖縄を選んだのは、①県内 とを思いつき、その一年後には酪農 精神で助けてくれるはず。②乳価が の酪農家を全員知っている、そして 経営を開始しました。新規就農の場 している時に突然酪農家になるこ 善を考える日々を送っていた横井 家を訪問し、酪農家と共に経営改 世界一高い」、③自給飼料は皆無だ 全 酪 連 の職員として、 毎日 酪

わ

いと思いのたけを熱く語る横井さ んに、拍手を送りたいと思います。



そしてご主人の長年の夢だった 農人生を歩んでこられました。そ ビーノ」への法人化、次男の就農、 替え、有限会社「蒜山ラッテバン りあい結婚され、以来4半世紀に 農家と酪農協職員との交流で知 な出来事がありました。 **平坦なれ我が人生**- 家族と共に -、ーズ工房の立ち上げなど、様々 ャージー・ホルスタインの ンボーンシステムへの転換、 過程では、フリーストール・へ たって、ご主人と二人三脚の酪 酪 からジャージー単飼への切り 農後 継者であるご主人と、 混 酪

ご主人はなおチーズ製造と新しい トンタッチされるようですが 今後は、息子さん夫婦に経営を

そして酪友として迎えてもらいた

お世話になった方たちに見せたい、

人の酪農家として成長した姿を

期待通り仲間に助けられながらも、 と、でした。就農後5年がたち、当初 械への投資を抑える事ができるこ る時間が増え、また自給飼料作機

> 店舗を持つことに意欲的です。川 過ごしていけたらと願いながら、 分探しをして、家族とにぎやかに り回されずに、ご自分の趣味や自 合さんはご主人のチーズ情熱に振

分に伝えてくれる発表でした。 さんの発表のどれもが、それぞれ かりで審査員泣かせでした。みな に、感動的であり酪農の魅力を十 今回も、大変粒ぞろいの発表ば 

芳賀ひとみさんを最優秀賞とさせ ながら分析に、自分の経営としつ 観的・理論的に周囲の助けを借 ものでしたが、特に「目標と夢の実 これらの審査基準を満たしている さらに発表や発表時間などを含め という4つの審査基準に照らし、 動の広がり」、「目標と夢の実現性 関わり」、「周囲とのつながり」、「活 ていただきました。 つある北海道酪農青年女性会議の て審査いたしました。どの発表も '性」という点で、実家の経営を客 以上の発表について、「酪農との

餇 ジ IJ 0)

以上

んでいらっしゃいます。川合さん コクのある人生にしたいと意気込 人生もまだまだこれから、濃厚で 苦さに脱帽です。 来年は、7月13日(水)~14 日金に北海道札幌市「東京 0 10 ドームホテル札幌」にて開 催予定となっております。 皆さまにお会いできること を楽しみにしております。 

# 第45回 全国酪農青年女性酪農発表大会

▲ 新旧役員交代の様子

▶ 新役員を代表して 挨拶をする 半澤委員長



◀ 退任する役員を 代表して挨拶をする 林前監事

### よ り 一 委員の紹介が行われました。 れ 言葉が述べられました。 皆様が登壇され、代表して (改選 続 再 太郎前監事より挨拶と感 最初に今季で退任される委員 発 酪農青年女性会議総会で役 41 表 任 引続きこれから2年間 て、 が実施されたため、 者 n 0 新 た半澤が 表彰に続き、 役員 0 善 紹 幸 介 委 が 13 員 新 行 謝 H 関 長 林 旧 わ 0 0 がら 友の ど、よろしくお願い を目指して活 議 トを切った全国酪 られました。 張 って は 今後ともご理解、 5引続き、 Á

係 機 関の 皆様方にご協力い 皆様方、また、 全国 ただきな 0 酪

役員とともに、新し いきたい 「本の酪農発展の 」との決意が述 ために 11 スタ 澒

## 平成 28 年6月~8月



日本酪農政治連盟

第24回参議院議員通常選挙 公示 6/22 酪農の発展に理解のある候補者に対し応援活 動の実施。

本連盟が推薦した候補者のうち、当選者に対 7/11 し祝電等の対応を実施。

第24回参議院議員通常選挙 投開票日

7/20

H

酪

農

業

振

農青年女性

動してい 本の

いきます

V

たします

協

力

0

ほ 0 興

### 三役会を開催(於:砂防会館)

- ◆議院議員選挙結果について 平成29年度酪農政策・予算確保について等を協議。
- ◆終了後、当選された参議院議員に対するお祝いと 要請活動を実施。

8/2

### 三役会、常任・中央合同委員会を開催(於:自 由民主会館)

- ◆平成29年度酪農政策·予算確保について 規制改革会議の指定団体制度の議論に対する取組 みについて等を協議。
- ◆終了後、当選された参議院議員に対するお祝いと 要請活動を実施。

7/10

田茂敦さんにお話を伺いました。 森県立三本木農業高校の実習講師: と少女の実話~』の舞台である青 本木農業高校、馬術部 ~盲目の馬 2008年に封切られた映画『三

# 現職に携わるまで

学生達に対し、一つの提案、考える にし、「将来は同じ思いをする若い にした仕事があっているのではない 園を趣味にしていた両親を手伝って 教師について書かれた一冊の本を手 に目標を見つけられずに海外をプラ を勉強していましたが、大学4年次 します。高校・大学は野菜・果樹 いるうちに農業のおもしろさに気付 ブラして将来について悩んでいた頃 実家は非農家でしたが、 自分にはこのような自然を相手 と思い農業高校への進学を決意 家庭菜

材料を提供してあげられるような

▲ 田茂敦先生

たら」と

人になれ

ました。

道を選び 師になる





# 酪農とのかかわりは

き本をたくさん薦めていただいたり 規模の酪農家を紹介してもらいま みようと決意し、北海道の200頭 事から離れて、農業を勉強し直して でばかりの毎日。一度教師という仕 仕事にしたいという思いが強くなり 農の奥深さに触れ、酪農を自分の した。そこで1年働いている間に酪 と、多くの経験を積むことが出来ま 熱心で、研修会への参加や、読むべ した。社長は従業員教育にとても たが、授業は全くうまくいかず悩ん の農業高校で教えることとなりまし 教員免許を取得し、 地元滋賀県

頭搾乳の牧場で働く機会を得まし を使い、ニュージーランドの1600 その後はワーキングホリデー制度



▼ 青森県立三本木農高

▲ 映画の舞台となった馬場

は

調子はすごくいいですよ。

た経営方法 集約化され 駄 徹 5 0 0 0 頭の乳量。 一放牧で3 を 底的に無 昼 省 夜 き、 kg



▲ 搾乳牛舎

とNZの放牧酪農の両極端の経営方 を見て「こんな酪農もあるのか。」 法を見て、酪農の多様性を肌で感じ、 と驚きの毎日でした。高泌乳型酪農

理解し、事故も減ってきました。今 たくさんの話を聞くうちに少しずつ に教えを請い、獣医師の指導を受け、 辺の酪農家さんや畜産試験場の方 で採用されました。いざ乳牛担当に に合格し、 で考えていてもダメだと気付き、周 ことすべてうまくいかず、自分1人 けに4頭倒しました。やることなす なった直後に、分娩した牛を立て続 森県立三本木農業高校に実習講師 を機に青森県に引っ越し、 その後、北海道の教員採用試験 食品加工を担当。 現在の青 結婚

る時の顔と、

分娩時の親牛の表情が

牛がおいしそうに牧草を食べてい

酪農の魅力は

望している2~3年生の中からも、 1年生全員に交代でやらせていま 子も良いような気がします。 ますが、夕方の搾乳・飼料給与は 『牛部』と称して希望者が搾乳に参 畜産の授業は2~3年生になり 将来畜産系に進学、 就職を希

をしつかり舐めた親牛はその後の調 さも感じてもらいたいですね。子牛

の今の課題です。

自然な姿を生徒に見せて、命の大切 います。親牛が子牛を舐めて乾かす

す強くなりました。

牛を教えたい』との思いがますま

# 今後の酪農に望むこと

加してくれています。

男子は15人。これでも男子が多い年 学科の3年生は、女子生徒が19人 と入学してもらいたいです。 もちろん畜産農家の後継者にももつ ることから、 省指定の農業経営者育成高校であ 本校は、 全国で20数校ある文科 畜産が好きな生徒は 動物科

> いればうれ でも出来て 伝いが少し 農家のお手

しいですね

全国

りが認めてくれるような飼養管理を 高校には乳牛は絶対必要だ」と周 ます。本校は、地域の農業特性を考 乳牛の飼養を停止する学校もあり です。動物ブームで愛玩動物を選択 行い、実績をつみあげる、それが私 めにも酪農について学べる環境を残 え、生徒のためにも、酪農業界のた ながら少ないですね。 する生徒が多く、酪農希望は残念 していきたいですね。「三本木農業 校には、管理の時間が不定期である 全国の農業高

を拭くのでなく、親牛に舐めさせて

たいです。生まれた子牛はワラで体 大好きで、多くの生徒に見てもらい

ほしい、それを軸に 立ちますが、自立 ず様々な分野に旅 業界の仕事に携 日々指導していま した人間になって 業後は酪農に限ら 生徒たちは、 卒業生が酪農

日本の農畜産物が優秀なのは周知の通り。 この先、酪農はどういう勝負ができるのか、私も-に考えていきます! 三農の卒業生をよろしくお願いします!

ることで、私も酪

### **沙酪農TOPIOSN**

### 本 所 発

### 「おいしいスモークチーズ」2品新発売! 売上の一部を熊本地震の復興支援に

本会酪農部ではこのほど、8月22日より 「全酪おいしいスモークチーズ 150 g (プレー ン・ペッパー) | の2品を新たに発売しました。 一口サイズの食べやすいキャンディータイプ で、山桜のチップで燻製したスモーク風味が生 きているプレーンタイプと、ブラックペッパー 入りのスパイシーなペッパータイプの2種類で、





▲ ペッパー

▲ プレーン

いずれもおやつ、おつまみとして召し上がるの に最適です。

また、発売日より12 月末までの間、本品の売 上げの一部を熊本地震被 災地の復興支援に充てさ せて頂くこととし、商品 パッケージにもその旨を 記載しました。

熊本地震により、被害を 受けられた地域の皆様に、 謹んでお見舞い申し上げる とともに、被災された方々 の一日も早い復興を祈念い たします。 (C.M)



▲ 裏面



## 「みどり部会 親睦ボウリング大会」開催される ─愛知県 愛知県酪協尾張支所─

8月24日(水)、愛知県酪農農業協同組合(杉浦 弘泰代表理事組合長) の尾張支所みどり部会に おいて「第22回みどり部会ボウリング大会」が 開催されました。

当日は会場の半田グランドボウルに、会員酪 農家・ご家族の方など総勢56名の参加者が集 まり、榊原一智部会長による開会宣言のあと、2 ゲームの合計点を競い合いました。

今年も、日頃練習してきた成果を存分に発揮

し、ハイレベ ルな戦いが展 開され、競技 終了後、男性 の部、女性の 部、子供の部



▲ 競技風景

それぞれの成績優秀者に賞品が授与され、盛会 のうちに終了しました。

これからも、この大会を通じて、地域の酪 農家間の交流の和が広がっていくことが期待 されます。 (Y.K)







## まだまだ進化する 75歳のスーパーおじいさん

度近くに達し、加えて「夏場に の変化も大きく、夏の気温は40 も作られています。また、 蚕の大好物である桑畑は市内で 冬には県中心部にそびえる赤城 るくらい落雷が良く発生します。 に発展を遂げました。今でもお から市内へと乾燥した季節風 本一雷が集中する」と言われ 米麦養蚕を中心 が吹き下ろす 四季

> 理事会長)は組合員戸数108業協同組合連合会(金井健志代表 なっています。 7 0 6 t 年間生乳生産量は2 (平成27年度実績)

9

北爪牧場が所属する赤城路

# 牧場の概要と歩み

飼料調 などは義則さんが、 未経産牛18頭 子さんの二人三脚で作業をして 北爪義則さん(75歳)、 北爪牧場は現在、 労働力としては経営主 整 搾乳は夫婦二人で行 圃場管理・ (預託牛含め) 経産 哺乳・ 堆肥処理 奥様の洋 牛 33 事務 頭 地域です。 群馬県前橋市

は群馬県中央部よりやや

群馬県の県庁所在地にな

則牧場を訪問

今回

は群馬県

前

市 0)

岡製糸場と絹産業遺産群を代表

ります。

群馬県は世界遺産

するように養蚕業が昔から盛ん

前橋市も群馬の典型的な農

9 ZENRAKUREN MEMBER'S INFORMATION \$\ 2016 \cdot 9\$

す。

自

給

餇

料

は近隣の酪農家と

設計 慮して全酪連の職員と相談し調 自給飼料 業体系を確立しています。 業を容易に頼 計です。 個 ミネラル コ 1 20 給与飼料 デントコーンを作付しています。 日 2 回 T 酪連の飼 配合と比較的シンプルな設 作業で行い、 ています。 kg などの添加剤を入れた パ は、 の収穫状況や季節も考 ا ا の状態は勿論のこと、 M 料工場でビタミン・ バミューダ3kg 自給飼料のデント むことができる作 R ・の方に 3 今のところ目 約6.5町歩 キサー 朝・ - 給餌作 飼料 夕と 赤 (D)



▲ TMRミキサー

良好で、 立った疾病は 頭当たり約1万1千㎏を超えて います。 泌乳量は年間平均で1 なく、 繁殖 状 況

前橋市) 牛舎は40年以上前に建てました 系統として生産を支えています。 さんが昭和22年頃にホル の系統を導入し、 北海道の三好牧場様より、アニー 場が宮城村の酪農先駆者でした。 りました。 ンを1頭導入したことから始ま 北爪牧場の歩みは、 未だ健在です。 に酪農場は無く、 その頃宮城村地区 北爪牧場の基幹 父親の雅次 北爪牧 スタイ 現:

# 牛に良いことをしたい

たとのことです。そこで牛にも 改善を図 患っていたこともあり、 れています。 年以上経った今でも牛に給与さ ルカリイオン水を取り入れ体質 ĺ 義則さんは若い カリイオン水を導入し、 ったところ効果があ 頃 胃 飲水にア 潰 瘍 20 つ を

酪農に取り入れるようになりま で良いと思ったものは積極的 の件から義則さんは、 自 分

下

また飼 らに、 策向 餇 せ、 が大きいと感じた際は、 しました。 た。 (料効率を上げることにも成功 温度を下げる工夫をしました。 ミストを取り付けました。 上のために換気扇を増台さ 「槽を御影石にしたことで」 夏に 屋根に水を散水し牛舎内 暑熱ストレ ス 暑熱対 0) 負担



▲ 屋根の散水

量反応に効果があったようです。 きます。 約26・7度のお湯が24時間出て た全てのウォーターカップから たことで、 ・痢の発生が大幅に減少し、 5年前には温水を循環型にし 灯油代はかかりますが、 育成牛・乾乳牛も含め

> なり、 平均 たが、 Ŕ 躍 温 しさに視察がよくあるそうです。 は 2年前にTMRミキサーを導 あ するそうです。 水 分離給与からTMR給与に 温 40 ŋ は それも可能になりました。 現在の飼 ´ますが、 ㎏を超えるのが難し 以前は1 水を取り入れている牧場 11 月 頃 から 頭当たり日乳量 養形態に至りま 循 環式のめずら 群馬県管内で 4月頃まで か

# 牛群検定を活かした経営

足 昭 L 和 たと同時に検定に加入し、 49 年に 牛群検定事業が発

▲ 温水の循環

その に精 Ŕ とに、 今では安定して平均35 があります。 時には平 0) 良を少しずつ進め自 群 か さんが検定データで特に もとに管理してきました。 などの重要項目 る状況を避けるべく、 7かりつ 高能 i 検定 たの 降 均で20㎏程度だった牛群 繁 甲 検定当時1頭当たり日 通 ・斐あってか乳量にお 乳質や体 力化に努め 0) していたこともあり、 は遺伝改良 殖 均 けの管理獣医さんが種 牛群改良情報」をも 40 乳 kg 量 は、 以上になること 細胞で悩まされ 乳 てきました。 0 牛 質・ 家産後継牛 部 淘汰と改 群 分です。 kg 重 検 体 以上、 1乳量 一要視 義 定 細 \$ 牛 て 則 を 胞

て初 どの T 和 ます。 もらっています。 今はバランスよく種付けをして 状 種 沢況を め 種を授精したかは、 付けは獣医さんが 台 牛と牛群状態を考慮して、 『ホルスタイン、 液の 7 帳 に記 わ 選定もお任 かる 番 わ 録 か 0) したのを後で見 で、 つ ただどの牛に て F 1, 牧場で いるの せしてい 行 先生が って Ε は お

> は、 向上を今後も取り組んでいくつ ありと考えており、 語 もりです。 では っておられました。義則さん まだまだ牛群に改良の なく先生なんだよ。』 更なる成績 余 ح 地

# 地域との繋がりについ

た。 齢でも十分に酪農経営が行える を共同保有しています。この ク 0) 0) 0) による良質自給飼 上 たおかげだと語っておられまし 0 ケ島酪農機械 酪農家と昭和55 ર્ષ ,ター2台などの作業機すべ 酪農家で組合を運営し、 効率性向上、 一げに参加 義 確保を目的とし、 、則さんは周 地域によって支えてもらっ しました。 利用 加えて作業人員 年に 辺 料 組 地 現在 合 生産と作業 域 馬 堆 0 場 は 肥 0) 10 トラ 5件 還 立 件 7 苗 年 元 5 0

収穫感謝祭農業功労者賞を受賞 されました。 活躍を称え、 を支えております。 献身的サポートもあり、 また、 多忙の ご夫妻は2013 屯 奥様の多大な 北爪 長年牧場 牧場 0



▲ 2013収穫感謝祭農業功労者賞 授賞式

# 北爪牧場の今後

飛躍を目指しております。 なスタイルを今後も続け、 ことは惜しみなく投資する積極的 マットを入れ替える構想を考えて ます。 今後 の目標としてまず 牛にとって良いと思える は 更なる 牛床

える事が大切 以下のように答えてくれました。 おきたい事は?との問に北爪さんは 最後に、 固定概念に捕らわれないで考 長い酪農家人生で伝えて

際、 与しており、 Τ Μ 分離給与時 R の メニ バ ユ ₹ は チモ ユ ] ] を決定する シーを給 ダ ヘイに

> ます。 事が重要との事です。 そうです。 変更する時はとても心配だった てみたところ問題なく進んでい にアドバイスをもらい、 ろいろな方に相談 しかし、関係する方々 実行し する

が大事』 餇 血統改良も (養管理が中心になりがちだ 同 時に進める事



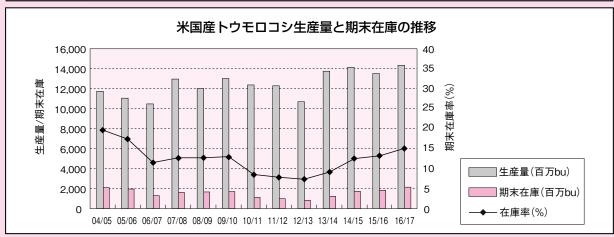
理のない能力発揮を実現 積極的な遺伝改良により、 泌乳を達成しています。 北海道からの 優良雌牛 の導 牛に Ļ 高

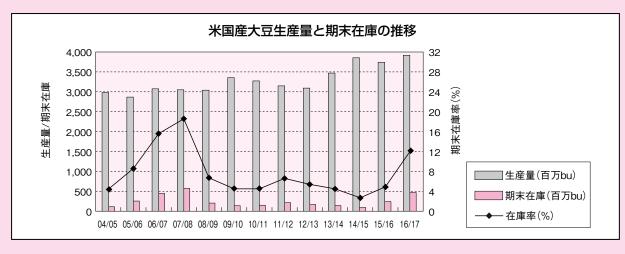
心より ますますのご発展とご多幸を祈 ところ、 北 爪牧場の皆様にはご多忙 り感謝申り 今回 し上 0) 取材へ げるとともに、 のご協 力

いたします。

### 原料情勢 平成28年8月

8月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【15/16年産】 作付面積88.0百万エーカー、単収168.4bu/エーカー、生産量136億100万bu、総需要量136億9,200万bu、期末在庫17億600万bu、在庫率12.5% 供給面で増加し、期末在庫は増加。								
	【16/17年産】 作付面積94.1百万工—カー、単収175.1bu/工—カー、生産量151億5,300万bu、総需要量145億bu、期末在庫24億900万bu、在庫率16.6% 需要供給両面で増加し、期末在庫は増加。								
トウモロコシ相場動向	とうもろこしの生産量は史上最高となり、大豊作が裏付けられる形となった。しかし、市場には材料出尽くし 感も広がっており、下値は限定的である。逆に今回発表された期末在庫数量が下方修正される材料が出てきた 際には価格上昇に反応しやすい地合になっている。								
8月12日発表 米国農務省 大豆需給予想	【16/17年産】 作付面積83.7百万エーカー、単収48.9bu/エーカー、生産量40億6,000万bu、総需要量40億1,600万bu、期末在庫3億3,000万bu、在庫率8.2% 需要供給両面で増加し、期末在庫は増加。								
大豆粕相場動向	米国産は、市場予想より弱気。期末在庫が増加したことから売りが優勢な展開。終盤、買戻しが入ったが前日比-2¢3/4の999¢(9月限)で当日の取引終了。国内産は、搾油量は前年を若干割れて推移しているが、飼料向けの出荷が低調なことから需給バランスは取れている状況。シカゴ相場はアルゼンチンの豪雨、ブラジルの旱魃など南米の天候不良を背景に相場を上げていたが、北米の天候懸念後退を受け6月下旬以降軟調な展開。北米産は相場の下値も期待されているところであるが、中国からの大量買付の可能性もあり、相場の上昇には十分な注意を払いたい。								
糟糠類	【一般フスマ】フスマは需給バランスに問題がないことから7-9月期は据置。前々期のフィードの大幅値下げの影響を受け配合使用量は減少傾向。 しかし今後は、輸入数量が減少傾向にあること、またフィードが値上げ傾向にあることから、フスマへの置換による需要増加に注意を払いたい。								
	【グルテンフィード】7-9月期は国内発生時期(コーンスターチ、異性化糖の需要増加による)にも関わらず価格は値上げとなった。前々期の大幅値下げの影響による飼料配合率の増加、輸入品(主に中国産)の価格上昇による輸入数量の減少が背景となっている。今後もこの状況は継続するとみられており、相場は強含みで推移するものと思われる。								
海上運賃	8月に入り北半球と南半球の穀物出荷の端境期に荷動きが一時的に減少するいわゆる「夏枯れ」の影響もあり、引き合いが閑散とし、軟調に推移した。しかし、これから中国向けの米国産大豆の出荷シーズンとなるため、相場は反発の兆し。今年は例年よりも中国の輸入意欲が強く、市況は堅調に推移していくと思われる。								





## 

	海上運賃については、相変わらず船腹に余剰感があり、北米向けの輸出がある日本の港向けの運賃は空コンテナを得るため								
北米コンテナ船 フレート	に過当競争になっています。 7月1日に発効された改正SOLAS条約については、現在のところ、北米側の産地において大きなトラブルはないようです。								
ビートパルプ	【米国産】日本向け主産地のミネソタ州・ノースダコタ州の北部では、降雨が多かった影響で作付けが遅れたことに加え、生育時にも多雨の傾向となっており例年より収量は下回る可能性があります。しかしながら、それ以外の産地では今のところ生育は良好と見られ、全体では生産量もほぼ昨年並みと推測されます。収穫作業は昨年同様、例年よりも10日から14日早い8月中旬からとなる模様です。 【ワシントン州】主産地のコロンビアベースンでは2番刈の収穫作業はすべて終了しています。1番刈で例年よりも多い70~								
アルファルファ	【ワシントン州】主産地のコロンビアベースンでは2番刈の収穫作業はすべて終了しています。1番刈で例年よりも多い70~80%程度の降雨被害が発生しており、プレミアム品が限定的となりました。2番刈についても収穫前半の6月中旬の降雨で、コロンビアベースン南部~中部の40%程度が被害にあったようで良い状況とは言えません。2番刈の品質については、晴天が続かず不安定な天候の中、天候優先で作業を進めたことで、1番刈と同様に全体的にドライ気味な仕上がりとなっています。								
	【オレゴン州】クラマスフォールズでは5月下旬より1番刈の刈り取りが開始されました。収穫期の天候は、2015年と比較すると安定しており、降雨被害は全体の20%程度だったようです。全体的に早刈り傾向で高成分のアルファルファが多いようです。クリスマスバレーでは、6月上旬から1番刈の収穫が開始されました。1番刈の序盤では一部で降雨被害が発生していますが、天候が回復した6月中旬以降に収穫したものについては刈遅れが心配されたものの、例年並みに良品が発生しています。産地相場は米国内向けおよび輸出サブライヤーからの引き合いが強くなっており、堅調に推移しています。								
	【カリフォルニア州】カリフォルニア州中〜北部では現在3〜4番刈が終盤を迎えています。2番刈および3番刈では降雨被害も少なく、見た目がきれいな緑目のものが多く発生しているようです。当地でもワシントン州1番刈の降雨を受け、プレミアム品の需要が高まっています。 南部インベリアルバレーでは5番刈の収穫が中盤を迎えています。7月に入ってから連日38度を上回る高温となっており、低成分ですが見た目がきれいな緑目のアルファルファの生産が中心となっております。産地価格については、中国、韓国および中東勢を中心に旺盛に買い付けされているため、強含みで推移しております。								
	【ユタ州】ユタ州においても、例年よりも2週間ほど早く、5月下旬からアルファルファ1番刈の収穫作業が始まりました。1番刈の序盤では一部で降雨被害も発生したようですが、全体的には天候に恵まれ、良品が多く発生しております。								
チモシー	【米国産】コロンビアベースン南部では早くも2番刈りの刈り取りが開始されました。1番刈については、コロンビアベースン全体では30%程度が降雨被害にあったと言われています。また、キティタスバレーでも40%程度降雨被害にあったと言われており、雨あたりを逃れた圃場でも雑草が混入しているものが例年より多いようです。今年は牛用の上級品~中級品の発生は多いようですが、馬用の最上級品の生産は限定的になっており、その需要が一部牛用にも入り込んできています。さらに今年は中東の馬向けの買付が増えており、これらの需要が日本向けの牛用の上級品に手を付け始めているようです。このため日本向けの上級品の供給力は例年に比べ限られています。								
	【カナダ産】主産地であるアルバータ州南部のレスブリッジでは、現在95%刈り取りが終了しています。例年より1週間程度遅いスケジュールですが、単収は3.0MTと例年並みになっています。天候は6月下旬から不安定となり、さまざまなグレードが発生しているようです。 アルバータ州中部のクレモナでは、現在のところ刈り取りの進捗は5~10%程度ですが、既に雨当たりが発生しているようです。								
スーダングラス	主産地インペリアルバレーでは1番刈りの収穫はほぼ終了しており、7月中旬から2番刈りの収穫が本格化しています。収穫の進捗は例年に比べ14日前後早く、湿度が発生する時期の前に収穫を終えた圃場が多かったことから、色抜け品の発生が例年に比べ少なくなっています。7月15日時点の作付面積は29,859エーカーで昨年比約24%の減少となっています。作付面積減少の背景には産地相場の下落から生産農家の作付意欲が大きく減退したことがあると考えられます。								
クレイングラス	クレインは全略連の登録商標です。クレイングラスは2番刈りまで終了しています。ここまでのところ、天候にも恵まれ順調な生育となっておりますスーダンと同様に産地相場の失望感から、休耕地としたり、水入れを休止した圃場が増えクレイングラスの作付面積は7月15日時点で14,142エーカーと昨年比12%減となっています。今年の生産量は昨年より20-30%減少するとの見方も出ています。韓国からの引き合いは昨年から一転し順調のようで、生産量の減少見込みと相まって今後の産地相場は強含みで推移するのは確実な状況です。								
ストロー類	主産地オレゴン州ウィラメットバレーでは、ライグラスストローとフェスクストローともに7月に入り順次収穫が始まっています。冷涼な気候により例年に比べ、収穫スケジュールはやや遅れているようです。また、不定期に降雨が確認されており、一部の圃場ではライグラス・フェスキューともに降雨被害が出ているようです。								
オーツヘイ	各産地では順調に生育が進んでいます。 7月の降雨量は、西豪州北部では例年並みでしたが、西豪州中部、南部では例年より降水量が少なくなっています。しかしながら、4月から6月上旬には十分な降雨があったため土壌水分量は問題ないレベルとなっています。 南豪州も西豪州とほぼ同様の状況ですが、東豪州については例年比130%の降雨が観測されています。播種後の生育期に低温で降雨量が多すぎると生育が十分に進まない懸念がありますが、今後の生育期間中の気温次第で十分回復は可能との見方が多いようです。このように、豪州全域において大きな天候の影響も受けず、現段階では生育は順調と言えます。								

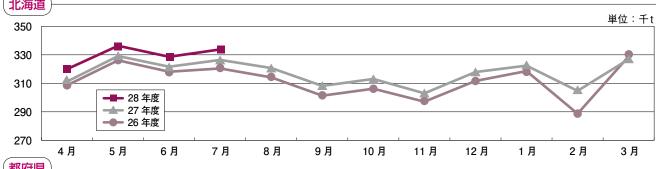
### 生乳受託販売乳量

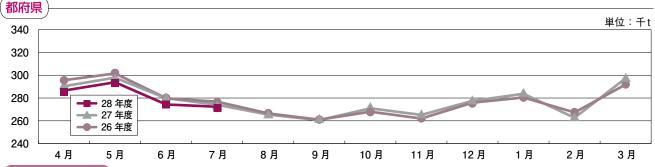
### 受託販売乳量

全国

606,154t で、前年同月比 2,931t(0.5%) 増加 都府県 272,359t で、前年同月比 4,439t(1.6%) 減少

北海道 333,795t で、前年同月比 7,369t(2.3%) 増加 北海道 350





### 用途別販売数量

飲用向 283,075t で、前年同月比 はっ酵乳向 **40,858t** で、前年同月比 クリーム向 114.438t で、前年同月比

6,171t(2.2%) 增加 703t(1.8%) 増加 43t(0.0%) 減少

チーズ向 36,942t で、前年同月比 3,023t(7.6%) 減少 特定 製品 130,840t で、前年同月比 877t(0.7%) 減少

390 340 290 牛乳等(飲用牛乳向+はっ酵乳等向) 240 その他乳製品向(生クリーム向+チーズ向) 特定乳製品向け 190 140 90

### 各地の需給動向

40

【東北】生産は、前年比99.4%。はっ酵乳中心に乳業者の処理は好調。飲用牛乳向けは98.5%、はっ酵乳等向け110.1%、特定乳製品 向けは88.2%となった。

2015 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

【関東】生産は、前年比99.1%。梅雨が長引き、当初の厳しい見立てより上振れ推移。下旬は前年を超えた。乳業者処理は月間通して 堅調に推移。飲用牛乳向けは100.1%、はつ酵乳向け102.4%、特定乳製品向け86.8%。

【東海】生産は、前年比98.8%。 生産はトレンドより上振れに推移した。 乳業者処理は、堅調に推移しており、飲用牛乳向けは98.9%、はっ 酵乳等向けは 103.7%、加工向けは 77.7%。

【近畿、中国、四国】生産は、月初の猛暑日より各地で急落したが、中旬以降はひと段落、横ばい〜微増で推移した。近畿 98.1%、中 国 99.7%、四国 99.0%。乳業者の処理は堅調に推移し、飲用牛乳向けは近畿 98.1%、中国 102.3%、四国 100.3%となった。

【九州】生産は前年比95.8%。当初見込みは95.7%も上旬の酷暑の影響で94.2%と下方修正した。中旬以降は、当初見込みを若干上回 る内容で推移した。処理は、飲用牛乳向けは95.4%、はっ酵乳向け101.2%、特定乳製品向け94.6%となった。

単位:千t

### 用途別生乳処理量

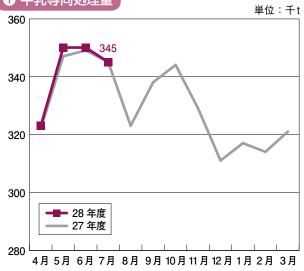
単位:千t

		田冷민	l <i>b</i> n IR E	≣⊥							田冷민	l <i>b</i> n IR E	<u></u>				
年月		用途別処理量計									用途別処理量計						
	生乳			乳製品向					牛乳.			乳製品向					
	生乳生産量		牛乳等向		特定乳製品的2	その他乳製品向			年月	生乳 生産 量				特定	その他	乳製品向	1
							クリーム向 3	チーズ向 ④		里		牛乳等向		特 定 乳製品向 ②		クリーム向 3	チーズ向 ④
2015. 4月	625	620	322	298	148	150	114	37	2016. 4月	633	626	323	303	157	145	108	37
5月	649	644	347	297	151	146	109	37	5月	653	649	350	299	152	147	108	39
6月	625	620	349	271	126	145	107	38	6月	626	622	350	272	128	143	105	38
7月	629	624	338	286	133	153	110	43	7月	631	627	345	282	132	150	111	39
8月	608	604	323	281	133	148	107	41	8月								
9月	593	588	338	250	107	143	107	36	9月								
10月	603	599	344	255	107	148	111	37	10月								
11月	588	584	329	255	110	146	110	36	11月								
12月	620	616	311	304	158	147	109	37	12月								
2016.1月	627	623	317	305	165	140	101	39	2017. 1月								
2月	595	591	314	277	142	135	100	35	2月								
3月	644	639	321	318	170	148	109	39	3月								
年度計	7,407	7,352	3,953	3,398	1,649	1,749	1,295	455	年度計	2,544	2,524	1,369	1,155	569	586	432	153

資料:農林水産省「牛乳乳製品統計」

単位:千t未満を四捨五入した数値を標記しているため、各項目の合計と表の合計とが合致しない場合がある

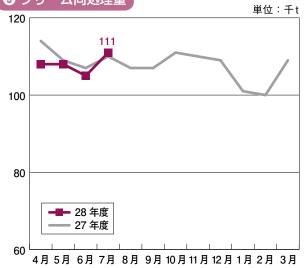
### 1 牛乳等向処理量



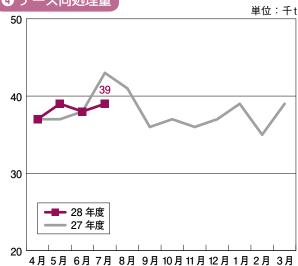
### ② 特定乳製品向処理量



### 3 クリ 一厶向処理量



### 4 チーズ向処理量







### お問い合せ

企画·監修

### -般社団法人 全国酪農協会

**〒151-0053** 

東京都渋谷区代々木1-37-20 〈酪農会館ビル〉

TEL: 03-3370-5341 FAX: 03-3370-3892

E-mail: ryokou@rakunou.org 〈担当:飯田〉

### 全国酪農業協同組合連合会 指導・企画部

**T108-0014** 

東京都港区芝4-17-5〈相鉄田町ビル〉

TEL: 03-5931-8003 FAX: 03-5931-8020

E-mail: shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

### 乳华产验情期

### 平成28年9月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765 釧路事務所 TEL 0154-52-1232 帯広事務所 TEL 0155-37-6051 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ★……強含み ▼……やや強含み ➡……横這い ★……やや弱含み ➡ ……弱含み

事 務 所	畜 種	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況						
札幌管内	育成牛(10-12月令)	45~55	•	札幌管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で100.0%、累計で99.0%、苫小牧管内月計で98.5%、累計で98.1%の実績となっております。						
	初 妊 牛	65~73	1	9月の札幌管内の初妊牛動向につきまして、市場に出回る腹内容はF1腹が中心となり、分娩月は11~12月分娩が中心となってまいります。資源は例年並みですが、道内他地区の価格状況によって購						
	経 産 牛	50~55	•	買客が流入すると、元々資源が多い地域でないため、価格変動が急騰する可能性もあります。						
釧路管内	育成牛(10-12月令)	45~55	<b>→</b>	根釧管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.6%、累計で103.7%、中標津管内月計で101.1%、累計で102.1%の実績となっております。						
	初 妊 牛	70~78	1	9月の釧路管内の初妊牛動向は、12月分娩中心の動きとなります。他の地区と同様にホル雌の資源 不足が言われる中、引き続き大型牧場の導入が活発な事、新規就農牧場の導入や、牛が動く時期とな						
	経 産 牛	50~55	•	る事から都府県導入の増加が予想される為、相場は強含みな展開になると予想されます。選別精液腹については導入希望が増えていますので、希望がございましたら早めのご連絡をお願いします。						
帯広管内	育成牛(10-12月令)	45~50	<b>→</b>	広管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で102.4%、累計で103.9%の実績となっております。 月の帯広管内の初好牛動向は、11月分娩中心の荷動きとなります。都府県の需要も高まってくる中、道内大型牧場						
	初 妊 牛	65~75	1	の増頭も重なりますので、価格は強含みで推移するものと見込まれます。道内においても黒毛和種の交配に増え、和 牛受精卵移植も盛んにおこなわれており、ホル雌の資源不足が依然として続いております。自家保留の傾向がより強						
	経 産 牛	50~55	•	くなれば、市場に出回るホル雌資源もより少なくなり、育成、初妊価格の高騰に拍車がかかるものと思われます。						
	育成牛(10-12月令)	42~48	<b>→</b>	並、管内の8月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.1%、累計で102.0%、北見管内月計で00.0%、累計で100.5%の実績となっております。						
道北管内	初 妊 牛	65~70	<b>7</b>	9月の初妊牛動向は、11月~12月分娩中心となります。酪農家の離農や黒毛和種の交配率上昇により乳用育成 牛が減少し資源不足が報告される中、道内大型牧場、都府県の初妊牛需要が秋には一気に高まり、F1腹、雌雄選						
	経 産 牛	45~50	•	別腹、ホル腹の順に価格の高騰が予想されます。また市場で裾物の育成や初妊牛ついても価格上昇が予想されますので、幅を持ったご注文をお願いします。						
道内総括	育成牛(10-12月令)	45~55	<b>→</b>	の8月中旬までの生乳生産量前年比は101.0%、累計で102.2%の実績となっております。 の初妊牛動向につきまして、秋分娩中心となり、都府県からの導入希望に加えて、道内でのメガファームの導						
	初 妊 牛	68~75	1	入もあり、需要が強くなり価格も堅調に推移するものと思われます。 特にクラスター事業を利用した新築牛舎が完成すると、非常に需要が強くなる事が予想されます。導入のご予定						
	経 産 牛	52~58	•	がありましたら、お早めのご連絡をお待ちしております。朝夕の気温変化が激しくなってきておりますので、購買の際は、服装にお気を付け下さい。						

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

### 今月の表紙

### 俺とジイの背中を見てくれ!

今月の表紙は、「第7回酪農いきいきフォトコンテス

ト」(第45回全国大会にて開 催)において入賞された「俺 とジイの背中を見てくれ!」 (福島県 佐藤恵美氏 撮影) です。



▼会報に関するご意 ▼会報に関するご意 「メールをいただけれ やす 季節の い時期でもあり 変わり 体調管理にお気 目 れ 7 ばドご 会崩



### お詫びと訂正

本誌8月号(No.611)5頁に掲載しました「砂金甚太郎会長の旭日中綬章受章記念祝賀会を開催」で掲載しました写真の中で誤りが ありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

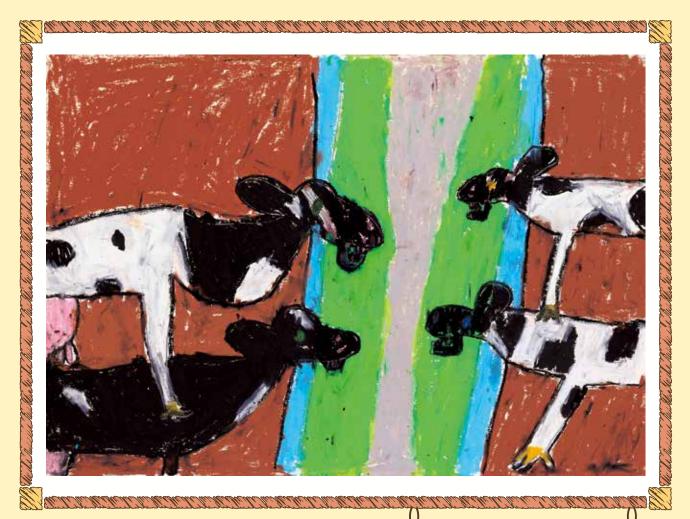
<誤>農林中央金庫 宮下副理事のご祝辞 → <正>農林中央金庫 宮園副理事のご祝辞

平成28年9月10日発行(毎月1回10日発行)

### ZENRAKUREN **MEMBER'S INFORMATION**

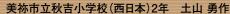
全酪連会報 9月号 No.612

- ●編集·発行人 大森 一幸
- ●発行 全国酪農業協同組合連合会 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号 TEL 03-5931-8003 http://www.zenrakuren.or.jp/



今月の

エサを食べる牛たち







月の入賞作品は、美祢市立秋吉小学校(西日本)2年の土山 勇作さんの作品です。 迷いのない力強いタッチが画面に勢いを与えています。上から見た俯瞰の構図でエサ を食べる牛さんたちをクレヨンを用いてハイセンスな色使いで表現しています。形の捉え方 もユニークで魅力的です。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第43回らくのうこどもギャラリー」で 全国674点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議